

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10	入居者の変化に伴い、看取り対応をする機会も増えてきているが、職員の経験や知識不足などから職員自身が不安に思う部分もある。看取りまではいなくても加齢や認知症の進行による入居者の変化に的確に対応していく必要がある。	終末期を迎え、看取りの状態になってもGHの一員として、最期まで入居者・家族が安心して過ごせる場所を目指す。	入居者の変化に応じて、主治医や家族・本人と今後について、こまめに話し合う機会を作る。 職員に対しては看取りを含めた研修を実施するとともに、知識や技術の向上に努め、冷静に的確に事態に対応出来る力を持てるようにする。	12ヶ月
2	33	面会時や来所時に家族から意見や要望を聞くようにしているが、支援の仕方や対応、事業所の運営などについて具体的な要望をもらうことがない。直接だと遠慮などがあり、本音や要望を言えないのではないかとされる為、何か方法を考える必要がある。	入居者や家族に希望・要望・意見を聞く機会や手段を増やし、より良い支援や運営に繋げていくことが出来るようにする。	より一層、家族との信頼関係を築けるように努めると共に、定期的なアンケートの実施や意見箱を玄関外に設置するなど、要望や意見が言いやすい環境を整える。	12ヶ月
3	40	毎日の夕食と、週1~2回の昼食を手作りしているが、献立が同じもの繰り返しになり、入居者の好みや希望を反映していることが少ない。食は楽しみの一つなので、もう少し入居者のニーズに合ったものへ変更していきたい。	入居者が食べたいものや好きなものを聞いて提供出来る機会を増やしていく。 「決める」「選ぶ」「考える」ことが出来る力をなくさない支援を目指す。	誕生日などの特別な時だけでなく、日常から献立作成の際には入居者の意見や好みを取り入れることを意識する。献立担当の職員だけで考えるのではなく、入居者から聞き取ったことや新しいメニューを他の職員も提案出来るようにしていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。